

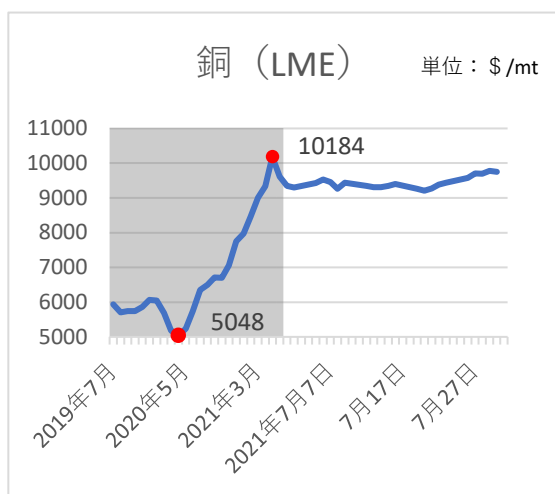
非鉄金属概況

日本鉱業協会 企画調査部

銅

【海外】

1. 価格推移



- ・ 前月に引き続き月前半は\$9,300 近辺を推移
- ・ 下旬は中国洪水による供給懸念やドル安などにより\$9,700 台に上昇

(2019年7月～2021年6月の値は月平均)

2. 需給動向

国際銅研究会(ICSG)の7月21日発表によると、2021年1～4月の世界の銅需給実績は以下のとおりで、需給バランスは6.9万tの供給過多だった。

<2021年1～4月の世界の銅需給実績表>

単位:千トン

	2021年1～4月 実績	2020年1～4月 実績	増減率	2021年年間予測 (2021年5月発表)
鉱石生産	6,811	6,535	+4.2%	21,321
地金生産	8,178	7,836	+4.4%	25,167
地金消費	8,109	7,726	+5.0%	25,088
需給バランス	+69	+110		+79

(うち、中国の銅需給実績)

	2021年1～4月 実績	2020年1～4月 実績	増減率
鉱石生産	593	530	+11.9%
地金生産	3,378	3,108	+8.7%
地金消費	4,405	4,019	+9.6%

(出典) 国際銅研究会

3. 供給障害

◆ アウルビス、洪水によりシュトルベルク銅加工工場で不可抗力宣言(ドイツ)

欧州最大のドイツ産銅会社アウルビスは7月16日、ドイツやベルギーなどで発生した豪雨による洪水を受けて、ドイツ西部で操業するシュトルベルク銅加工工場の出荷について不可抗力宣言を行った。工場の敷地全体に被害が及んでおり、操業の再開は早くても2021年第4四半期になるとしている。約400人の従業員に被害はなかった。シュトルベルク銅加工工場は年間3.5万tの銅製品を生産している。7月中旬に発生したこの豪雨ではドイツやベルギーを中心に被害が発生し、200人以上が死亡した。

【国内】

1. 建値推移(千円/t)

7月1日	7月6日	7月9日	7月14日	7月20日	7月26日
1,090	1,100	1,070	1,080	1,050	1,110

2. 銅地金生産・出荷・生産者在庫(2021年6月分=令和3年6月分)

	2021年6月	2021年5月比	2020年6月比
生産	126,723 t	-0.7%	-4.0%
出荷	124,234 t	+7.1%	-6.3%
在庫	97,855 t	+2.6%	-16.4%

(出典)日本鉱業協会

生産は前月比が2か月ぶりの減少、前年同月比は2か月連続の減少となった。出荷は前月比が2か月ぶりの増加、前年同月比は2か月連続の減少。内訳は内販が前月比12.1%増、前年同月比31.8%増の8.1万tで、それぞれ2か月ぶりの増加と4か月連続の増加。内販のうち電線向けは前年同月比27.3%増の5.2万tで4か月連続の増加、伸銅品向けは前年同月比51.2%増の2.8万tで3か月連続の増加。在庫は前月比が2か月連続の増加、前年同月比は3か月連続の減少となった。

3. 需要部門別動向

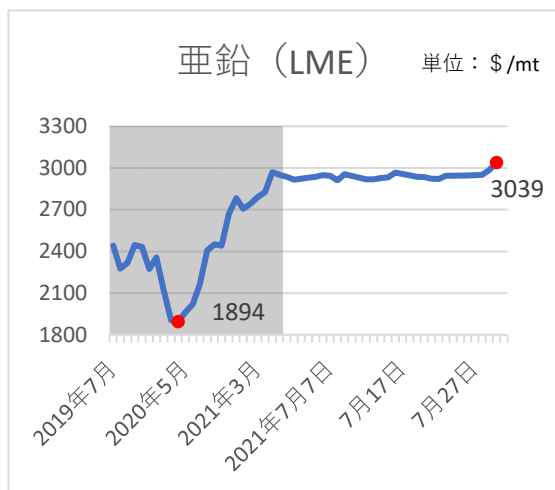
(一社)日本電線工業会によると、2021年6月の銅電線出荷は前年同月比3.7%増の5.3万t(推定)と3か月連続の増加となった。うち内需は前年同月比3.8%増の5.2万tで4か月連続の増加、輸出は0.8%増の1,100tで3か月連続の増加。内需の部門別では、電気機械が10か月連続、自動車が9か月連続の増加、建設・電販が2か月連続の増加、電力が5か月連続、通信が5か月連続の減少となった。

(一社)日本伸銅協会によると、2021年6月の伸銅品生産は前年同月比48.6%増の6.9万t(速報)と6か月連続の増加となった。品種別には、半導体、コネクタ、自動車端子向けの銅条が前年同月比47.8%増で9か月連続の増加。自動車端子向けの黄銅条は92.9%増で8か月連続の増加。コネクタ向けの青銅板条は71.7%増で4か月連続の増加。エアコン向けの銅管は20.0%増で3か月連続の増加となった。

亜鉛

【海外】

1. 価格推移



- ・ 前月に引き続き \$2,900 台から \$3,000 台を推移

(2019年7月～2021年6月の値は月平均)

2. 需給動向

国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)の7月20日発表によると、2021年1～5月の世界の亜鉛需給実績は以下のとおりで、需給バランスは4.1万tの供給過多だった。

<2021年1～5月の世界の亜鉛需給実績表>

単位：千トン

	2021年1～5月 実績	2020年1～5月 実績	増減率	2021年間予測 (2021年4月発表)
鉱石生産	5,187	4,582	+13.2%	12,924
地金生産	5,795	5,537	+4.7%	14,128
地金消費	5,755	5,202	+10.6%	13,775
需給バランス	+41	+335		+353

(うち、中国の亜鉛需給実績)

	2021年1～5月 実績	2020年1～5月 実績	増減率
鉱石生産	1,606	1,484	+8.2%
精鉱輸入	782	863	-9.5%
地金生産	2,629	2,501	+5.1%
地金輸入	229	138	+65.4%
地金消費	2,756	2,497	+10.4%

(出典) 国際鉛亜鉛研究会

【国内】

1. 建値推移(千円/t)

7月1日	7月7日	7月12日	7月15日	7月20日	7月27日
382	376	379	370	373	385

2. 亜鉛地金生産・出荷・生産者在庫(2021年6月分=令和3年6月分)

	2021年6月	2021年5月比	2020年6月比
生産	44,706 t	-2.3%	+19.5%
出荷	42,550 t	+11.6%	+26.4%
在庫	71,010 t	+3.1%	-10.8%

(出典)日本鋳業協会

生産は前月比が2か月ぶりの減少、前年同月比は4か月連続の増加となった。出荷は前月比が3か月ぶりの増加、前年同月比は9か月連続の増加となった。在庫は前月比が3か月連続の増加、前年同月比は7か月連続の減少となった。

3. 需要部門動向

2021年5月の亜鉛めっき鋼板生産は前年同月比54.3%増の79.8万tで、3か月連続の増加となった。

(一社)日本伸銅協会によると、2021年5月の伸銅品生産は前年同月比29.7%増の62,485t(確報値)で、5か月連続の増加となった。黄銅製品では、黄銅条が39.9%増の7,725tで7か月連続の増加。黄銅棒が16.7%増の13,585tで4か月連続の増加となった。

亜鉛関連製品生産統計(2021年5月分=令和3年5月分)

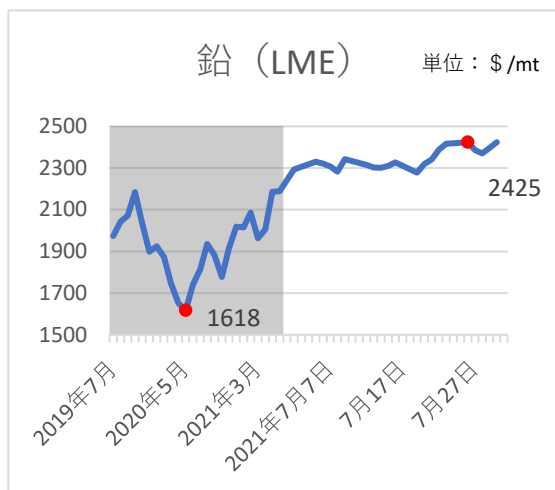
	2021年5月	2021年4月比	2020年5月比
亜鉛めっき鋼板	798千 t	+1.0%	+54.3%
黄銅製品	24,359 t	-12.8%	+26.8%
亜鉛ダイカスト	1,878 t	+39.9%	+221.9%
酸化亜鉛(亜鉛華)	5,045 t	+5.7%	+28.6%

(出典)一般社団法人日本鉄鋼連盟、経済産業省生産動態統計調査

鉛

【海外】

1. 価格推移



- ・ 下旬はドイツ洪水による供給懸念などで上昇
- ・ 7月26日は2018年6月以来の高値となる\$2,424.50

(2019年7月～2021年6月の値は月平均)

2. 需給動向

国際鉛亜鉛研究会(ILZSG)の7月20日発表によると、2021年1～5月の世界の鉛需給実績は以下のとおりで、需給バランスは5.1万tの供給過多だった。

<2021年1～5月の世界の鉛需給実績表>

単位：千トン

	2021年1～5月 実績	2020年1～5月 実績	増減率	2021年年間予測 (2021年4月発表)
鉱石生産	1,883	1,716	+9.7%	4,748
地金生産	5,107	4,619	+10.6%	12,068
地金消費	5,057	4,531	+11.6%	11,972
需給バランス	+51	+88		+96

(うち、中国の鉛需給実績)

	2021年1～5月 実績	2020年1～5月 実績	増減率
鉱石生産	763	714	+6.9%
精鉱輸入	249	260	-4.0%
地金生産	2,134	1,864	+14.5%
地金輸入	10	7	+48.5%
地金消費	2,062	1,882	+9.6%

(出典) 国際鉛亜鉛研究会

3. 供給障害

◆ エコバット、洪水によりシュトルベルク鉛製錬所で不可抗力宣言(ドイツ)

英バッテリーリサイクル大手のエコバットは7月21日、ドイツやベルギーなどで発生した豪雨による洪水を受けて、ドイツ西部で操業するシュトルベルク鉛製錬所の出荷について不可抗力宣言を行った。製錬所は操業を停止しており、再開時期は未定としている。シュトルベルク鉛製錬所は欧州のバッテリーメーカーに鉛を供給しており、15.5万tの年間生産能力を持っている。また、21日のLME鉛相場はこの発表が供給懸念材料となり上昇。3か月先物は\$21.5/t高の\$2,327に続伸した。

【国内】

1. 建値推移(千円/t)

7月1日	7月14日	7月26日
312	315	321

2. 鉛地金生産・出荷・生産者在庫(2021年6月分=令和3年6月分)

	2021年6月	2021年5月比	2020年6月比
生産	16,314 t	-8.7%	-3.2%
出荷	18,011 t	+30.2%	+24.1%
在庫	11,945 t	-12.8%	-42.5%

(出典)日本鉱業協会

生産は前月比が3か月ぶりの減少、前年同月比は2か月連続の減少となった。出荷は前月比が4か月ぶりの増加、前年同月比は8か月連続の増加となった。在庫は前月比が3か月ぶりの減少、前年同月比は8か月連続の減少となった。

3. 需要部門動向

2021年5月の自動車生産台数は前年同月比63.2%増の50.3万台で、3か月連続の増加となった。また、二輪車生産台数は前年同月比117.5%増の4.2万台で、4か月連続の増加となった。

(一社)電池工業会によると、2021年5月の自動車用鉛蓄電池のメーカー販売個数は、新車用、補修用、二輪車用を合わせた総合計で137.3万個(前年同月比21%増)と3か月連続の増加、自動車用以外の鉛蓄電池は42.3万個(3%減)と5か月連続の減少となった。その結果、鉛蓄電池のトータル出荷は179.6万個(14%増)となった。

鉛関連製品生産統計(2021年5月分=令和3年5月分)

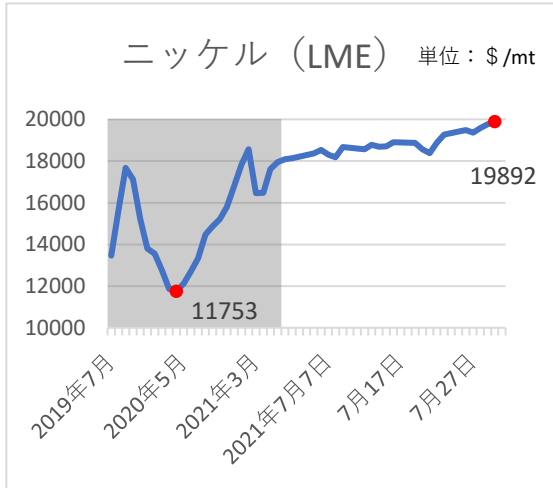
	2021年5月	2021年4月比	2020年5月比
自動車	502,828台	-30.3%	+63.2%
自動車用鉛蓄電池(鉛量 t)	13,469 t	-13.6%	+48.1%

(出典)一般社団法人日本自動車工業会、経済産業省生産動態統計調査

ニッケル

【海外】

1. 価格推移



・ 東南アジアの COVID-19 感染拡大や
ヴァーレのカナダ鉱山ストが続き、上昇
傾向

・ 7月30日は2014年7月以来の高値と
なる\$19,892

(2019年7月～2021年6月の値は月平均)

2. 需給動向

国際ニッケル研究会(INSG)の7月20日発表によると、2021年1～5月の世界のニッケル需給実績は以下のとおりで、需給バランスは6.1万tの供給不足だった。

<2021年1～5月の世界のニッケル需給実績表>

単位：千トン

	2021年1～5月 実績	2020年1～5月 実績	増減率	2021年年間予測 (2021年4月発表)
鉱石生産	1,048	910	+15.2%	2,824
地金生産	1,073	985	+8.9%	2,718
地金消費	1,134	924	+22.8%	2,673
需給バランス	-61	+62		+45

(うち、中国のニッケル需給実績)

	2021年1～5月 実績	2020年1～5月 実績	増減率
鉱石生産	44	43	+1.4%
地金生産	315	301	+4.7%
地金消費	638	518	+23.2%

(出典) 国際ニッケル研究会

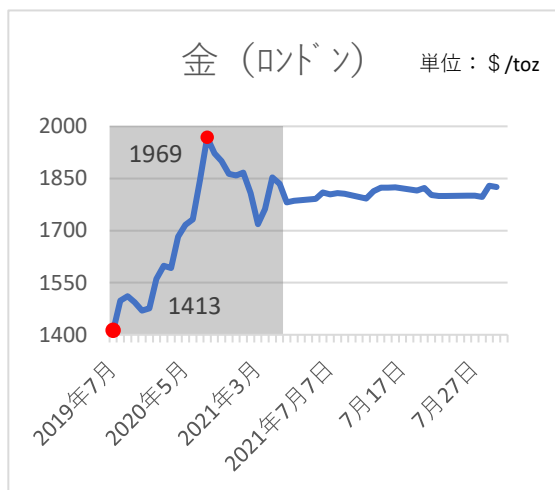
【国内】

メタルニッケル生産・出荷・生産者在庫(2021年6月分=令和3年6月分)

2021年6月の生産量は2021年5月比1.1%減、2020年6月比13.6%減の4,135tで、それぞれ3か月連続の減少と2か月連続の減少となった。

金

【海外】 価格推移



・ 前月に引き続き \$ 1,800 近辺を推移

(2019年7月～2021年6月の値は月平均)

【国内】

1. 建値推移(円/g)

7月1日	7月2日	7月5日	7月6日	7月7日	7月8日	7月12日	7月13日
6,349	6,409	6,417	6,420	6,420	6,429	6,425	6,443
7月14日	7月15日	7月16日	7月19日	7月20日	7月21日	7月26日	7月27日
6,452	6,482	6,488	6,441	6,421	6,414	6,430	6,405
7月28日	7月29日	7月30日					
6,395	6,432	6,468					

2. 金地金生産・出荷・生産者在庫(2021年6月分=令和3年6月分)

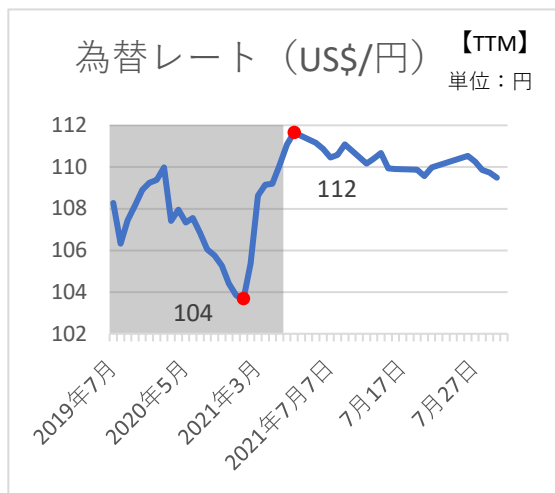
	2021年6月	2021年5月比	2020年6月比
生産	8,771kg	+2.1%	+4.5%
出荷	8,704kg	+4.7%	+1.8%
在庫	4,207kg	+1.6%	+3.6%

(出典) 経済産業省生産動態統計調査(生産と出荷の前年同月比については、以前の実績との間で不連続を生じたため、連続性を確保したもので計算)

生産は前月比が2か月連続の増加、前年同月比は3か月連続の増加となった。出荷は前月比、前年同月比ともに2か月連続の増加となった。在庫は前月比が4か月連続の増加、前年同月比は15か月ぶりの増加となった。

為替相場

為替相場推移



- ・ 米長期金利の低下や COVID-19 感染拡大によりドル売りが進み下落傾向、\$1=111 円台から 109 円台に

(2019年7月～2021年6月の値は月平均)